

日本代表に選出



加東市で活動している中学生硬式野球チーム『兵庫北播リトルシニア』に所属する岩崎優太さん(投手・写真右)と林 仙龍さん(外野手・同左)が、12月29日から1月2日にかけて台湾で開催されている第14回日台国際野球大会の日本代表に選出されました。

「言葉を超えて、外国の友達を作りたい(岩崎さん)」「外国の選手を見て、自分の色々なステップアップにつなげたい(林さん)」と、それぞれに目標を定めた二人。試合での活躍とともに、各々の目標達成を力強く誓ってくれました。大会での活躍を期待しています。

念願の春高バレー出場



小学生女子のバレーボールチーム『東条ジュニア』の一員だった、大阪国際滝井高校3年・廣田くるみさん(小沢・写真右)と同・松本彩音さん(天神・同左)が、1月4日から東京体育館で開催される第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)に出場されます。廣田さんは「高校生活最後の全国大会。悔いのないようにがんばります」と話してくれました。

義士の遺勲をしのぶ



12月14日、観音寺(家原)で、加東市赤穂義士祭が開催されました。会場内では、恒例の福引き・甘酒接待・駅伝大会・剣道大会のほか、忠臣蔵の大河ドラマ化を求める署名活動も実施され、地元の方々をはじめ、県内外から訪れた多くの歴史ファンが署名に協力していました。

野村忠宏杯少年柔道大会 (奈良県・天理大学)



低学年の部 優勝 社柔道少年団 (田中陽竜・柴垣璃来・村川紗衣子・田中あい・中谷雅夢)



高学年の部 第3位 社柔道少年団 (河口璃香・田中天満・横山りせ・高橋奏斗・増田のどか)

クリスマス 和菓子でお祝い



12月3日、サンタクロースやクリスマスツリーなどをかたどった和菓子作りを体験するイベント『和菓子でスペシャルクリスマス』を開催しました。定員20人の2部制としていたところ、申込者が殺到。もう1部、追加で開催するほどの人気でした。

指導にあたった天神の和菓子店『御菓子司 開進堂』4代目・藤原史弥さんは「たくさんの方が喜んでくれてよかったです。これからも、いろいろな形で和菓子の魅力を伝えたいです」と話しておられました。

永年の奉仕活動に光



加東市内に拠点を置き、30年以上にわたって募金をはじめとした奉仕活動に取り組んできたボーイスカウト・社第1団(代表・小林義一さん)に対し、厚生労働大臣から『共同募金運動奉仕団体特別表彰』が贈られ、12月17日、社福祉センターで伝達式が行われました。

スカウトの一員で、伝達式当日もやしるショッピングパークBioで募金を呼び掛けた宮島文治さん(兵教大附属小6年)は「ずっと昔から、みんなで続けてきた取り組みが認められて、とてもうれしいです。表彰されたからといって浮かれずに、これからもしっかりと活動します」と話してくれました。

第6回北播少年親善野球ジュニア大会つぼみ 準優勝 第7回加東少年野球ジュニア大会 優勝



米田少年野球クラブ

加東市をイメージした邦楽曲作曲



12月12日、箏演奏家で作曲家の池上眞吾さん(写真中)が加東市を訪れ、国宝朝光寺や東条湖、闘竜灘などの市内の名所を巡られました。池上さんは、加東文化振興財団から、加東市をイメージした邦楽曲の作曲を依頼されており、その着想を得るための来訪でした。

作曲の依頼は、父親が加東市出身の尺八奏者で、以前から加東市で春に開催される『加東市邦楽演奏会』に出演されている尺八奏者・小林鈴純さん(同左)を介して実現しました。

創作される新曲は、箏奏者・折本大人樹さん(同右)が小林さんとともに演奏する二重奏と、大人数で演奏するための曲の計2曲。池上さんは「加東市は、初めて来た感じがしない、懐かしさのような魅力がありました。他の季節でも見たいと思わせるところがたくさんあったこともあり、思い

たよりも多くのイメージが湧いてきました」と話しておられました。二重奏は、3月12日(日)に開催される邦楽演奏会でお披露目され、もう一曲は、1年をかけて、加東市箏曲教室などで練習され、平成30年の邦楽演奏会で披露される予定です。

本物で投票を体験



選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、加東市では、市立小・中学校で選挙を学んでもらう出前授業を開催しています。

12月9日には、三草小学校の6年生19人を対象に、出前授業を開催しました。クイズ形式で選挙の仕組みを学んだ子どもたちは、雨の日に体育館で使用する遊び道具を決める選挙を体験。2種類の遊び道具それぞれを推す候補者の演説を聞いた後、実際の公職選挙で使う記載台、投票箱を使い、投票しました。

同小6年の田尻有梨果さんは「応援していた候補者は負けてしまいました。今日を忘れずに、18歳になったら必ず投票に行きたいと思います」と話していました。

本殿の保存修理工事が完了



平成28年2月から12月にかけて、本殿の保存修理工事を実施した上鴨川住吉神社で、12月18日、『十六日祭』が開催されました。毎年、12月16日に近い日曜日に開かれるこのまつり。今回は、修復された本殿のお披露目を兼ねており、氏子である上鴨川地区のみなさんが次々と参拝に訪れていました。

竣工を受けて、上鴨川地区の小藪 彌区長は「加東市をはじめ、県・国から助成をいただいたおかげで、工事ができました。氏子一同、大変喜んでます。今後は、国の重要無形民俗文化財に指定されている神事とともに、大切に守り続けていきたいと思ひます」と話しておられました。

同好の士 加東に集う 兵庫県川柳祭 in 加東



12月4日、滝野文化会館で『兵庫県川柳祭 in 加東』が開催されました。この催しでは、事前に作品を応募し、審査を受ける『事前投句の部』と、当日に会場作品を提出する『当日投句の部』が設けられ、県内外から6,000を超える句が寄せられました。

表彰式後に行われた受賞句の講評では、満員の会場の中、熱心にメモを取る来場者の姿が見られるなど、川柳文化の隆盛が感じられる機会となりました。

まちがど
トピックス
TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387